

理工学研究科

研究科のディプロマ・ポリシー(DP:修了認定・学位授与の方針)

<教育理念と教育目的>

理工学研究科は、愛媛大学大学院学則及び愛媛大学憲章の趣旨を踏まえ、理工学に関連する基礎知識と専攻分野における高度な専門知識及び応用能力を修得させ、自立し創造性豊かな研究活動をすすめる高度専門職業人及び研究者となる人材を育成するとともに、理工学の学術の進展に貢献することにより、地域社会及び国際社会の発展に寄与することを目的としています。

<育成する人材像>

【博士前期課程】

博士前期課程では、社会と地球環境を見据えつつ、今日の科学・科学技術を継承し発展させることのできる人材を育成し、地域社会及び国際社会に必要とされる高度専門職業人、技術者、研究者を育成します。

【博士後期課程】

博士後期課程では、社会と地球環境を見据えつつ、科学と科学技術のフロンティアに立つことのできる高度専門職業人、技術者、研究者を育成します。

<学習の到達目標>

【博士前期課程】

1. (専門家としての自立)理工学の一分野における高度な専門知識の体系を自己の中に確立し、それを基礎に技術者、研究者として自律的に発展することができる。
2. (実践力)獲得した高度な専門知識と技能を社会における多様な課題に応用し、社会の福利に寄与することができる。
3. (科学の普及)社会の多様な立場の人々に対し、科学への理解と科学技術の活用を助けることができる。
4. (自己評価能力)自ら展開する科学・科学技術について、人間、社会および地球環境との調和の観点から評価することができる。

【博士後期課程】

(世界と連携する創造力)

世界の技術者、研究者と連携し、科学と科学技術の最先端を切り拓くことができる。

(組織におけるリーダーシップ)

技術者、研究者を組織し、技術開発、学術研究でリーダーシップをとることができる。

(社会に対する責務)

広く社会の諸問題に目を向け、技術者、研究者の役割を自覚し、科学と科学技術をもって社会に貢献することができる。

<修了認定・学位授与>

理工学研究科の定める教育課程を修め、規定する期間以上在学し、厳格な成績評価に基づき所定の単位を修得し、学位論文又は特定の課題についての研究の成果を提出してその審査を受け、修了要件を満たした学生に対して、修了を認定し学位(修士/博士)を授与します。

研究科のカリキュラム・ポリシー(CP:教育課程編成・実施の方針)

<教育課程の編成と教育内容(教育の方法)>

【博士前期課程】

ディプロマ・ポリシーに示した学生が修了時に必要な能力を身に付けられるよう、専攻・コース毎に学習・教育目標と教育課程を編成しています。所属する専攻・コース及び他の専攻・コースの授業科目のうちから30単位以上※を修得し、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

※ICT スペシャリスト育成コースは40単位以上

学位研究の課題は、指導教員(主・副)の助言のもとで、学生が主体的に決定し、「研究計画書」を作成し、提出します。「研究計画」に基づく学位研究の実施過程において、指導教員が作成した「研究指導計画」に沿って、指導教員(主・副)の指導を随時受けます。これらの過程において、科学研究の基本を学び、主体的な研究・開発活動を実施するための高度な専門知識・技能、課題解決力を涵養します。成果発表会において、指導教員ら以外の研究者からも指導や助言を受けます。

【博士後期課程】

ディプロマ・ポリシーに示した学生が修了時に必要な能力を身に付けられるよう、専攻毎に学習・教育目標と教育課程を編成しています。所属する専攻・コース及び他の専攻・コースの授業科目のうちから12単位以上※を修得し、学位(博士)論文の審査及び最終試験及び試問に合格しなければなりません。

※先端科学特別コースは14単位以上

入学願書出願時に、学生は研究課題を考え申請します。入学者選抜時に、教員との面接を行い、研究計画の概要を確認します。入学後は、指導教員(主・副)の助言のもとで、学生が主体的に学位研究の課題を決定し、「研究計画書」を作成し、提出します。提出した「研究計画」に基づいて、指導教員が「研究指導計画」を作成し、これらに沿って学習と研究を実施します。指導教員の

指導のもとで行う学生個々の実践的なリサーチワークと学位論文作成を通じて、高度な課題探求力・解決力、高度な専門能力・学識を涵養します。研究を遂行する過程において、科学研究の計画・実施・成果発信を遂行できる高度な専門能力・学識、高度な課題探究力・解決力を涵養します。

<成績評価>

授業科目の成績は、筆記試験、レポート、口述等により評価されます。

<カリキュラムの評価(学習成果の評価)>

学位論文の内容、リサーチ・ルーブリックなどによる評価、学生や修了予定者に対するアンケート調査、就職先へのアンケートやヒアリング調査などの分析を実施し、学修到達目標の達成状況や学位の学術的な水準について検証します。

研究科のアドミッション・ポリシー(AP:入学者受入の方針)

<求める入学者像>

【博士前期課程】

博士前期課程の目標とする人材を育成するために、社会人も含めて国内外の大学卒業生、大学卒業予定者及び大学卒業に準ずる学力をもつ者を対象に、次のような資質または志をもつ入学志願者を募集しています。

1. 学士課程で理工学の基礎を学び、その学理をより深く修めるための用意が十分にできている人
2. 研究活動を行うための基礎的技能をもっている人
3. 理工学をさらに深く修め、その知識と技能を人類、社会、地球環境のために役立てたいと志している人

【博士後期課程】

博士後期課程の目標とする人材を育成するために、社会人も含めて国内外の修士学位保持者または同等以上の学力を有する者を対象に、次のような志をもつ入学志願者を募集しています。

1. 博士前期課程で学んだことを基礎に、科学的洞察力と研究遂行能力をさらに高め、科学と科学技術のフロンティアを開拓したいと志している人
2. 人類、社会と地球環境の諸問題の解決に向けて科学・科学技術の側面から貢献したいと考え、そのために先導的な研究力、開発力を身につけたいと志している人

<入学者選抜の方針>

【博士前期課程】

学士課程を通じて修得した基礎的な知識・技能、それらを活用する能力、科学と科学技術のフロンティアに立って社会の福利に貢献する意欲などを、筆記試験や面接により多面的・総合的に評価します。また、社会人や外国人留学生などの多様な属性をもつ意欲のある学生に対して門戸を開き、面接や提出書類によって評価します。

【博士後期課程】

修士の学位保持者に相当する科学的洞察力と研究遂行能力、科学と科学技術のフロンティアに立って社会の福利に貢献する意欲などを、面接により評価します。また、社会人や外国人留学生などの多様な属性をもつ意欲のある学生に対して門戸を開き、面接や提出書類によって評価します